社会福祉法人　ひまわり　広報部発行
杵築市　ひまわり　検　索
0978-52-2233
http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念

- 利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
- 地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針

- 利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
- 利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
- 地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
- 社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
- 日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

平成20年度　第二回 瑞雲荘運営支援委員会

瑞雲荘

2月24日、今年度第二回目の瑞雲荘運営支援委員会が委員全出席のもと開かれました。

まず、瑞雲荘の運営状況の報告（入所者の概況等）を行い、覚書履行状況の説明を行いました。その中で、第8条の「燃料、食材料および消耗品について、三割以上を大田地区より仕入れることとする」ことが履行できていない状況を報告し、説明をさせていただきました。昨年、原油が高騰し、「止むを得ず」の対応だったことについて、委員の方々にはご理解していただきました。

また、建替計画についても協議を行い、平成18年度の介護報酬改定により、在宅部門の収益が大幅に減少した旨を報告し、瑞雲荘のスプリンクラーの設置義務履行と耐震補強等を含めたリフォームを平成23年度末までに行い、瑞雲荘建替の履行に関しては、後日開催される家族会でのご意見を伺った上で、平成26年以後に延期させていただきたいとの内容で杵築市との協議を行うことを了承、確認をいただきました。

また、来年度からは覚書上では年一回の開催となる本委員会について、建替の件も含め運営に対してご意見をいただけるよう従来通り年二回の開催を委員さんにお願いし、了解していただきました。

平成20年度　第二回 瑞雲荘家族会

3月7日、平成20年度第二回瑞雲荘家族会定期総会が開催されました。ご多忙にもかかわらず14組16名のご家族に出席していただきました。

会では、まず重松相談員より、入所者概況や待機状況、取組み等の説明を行い、続いて4月からの改定に伴う自己負担金の増額や加算の概要等について説明させていただきました。

真田統括施設長からは、先日開催された第二回瑞雲荘運営支援委員会について、建替の案を含めた報告とスプリンクラー設置について説明を行いました。

質疑応答では、4月からの利用料のことや建替えた場合は全室個室になってしまうのか、またその建替えについては議会との協議が必要なのか、重労働と言われている現場職員の労働条件の改善や食の安全についても細部まで行き届いた配慮をしてもらいたい、ハード面だけでなくソフト面にも気を遣って頂きたい等々、貴重なご意見やご提案、質問をいただきました。

即答できる案件についてはお答えし、協議の必要な案件については、今後も真摯に検討、対応していく事とし、閉会しました。

訪看つうしん

きつき訪問看護ステーション

めまい　放置しないで

もくれんの花がつぼみから、咲き始めようとしているのをみかけました。春をたくさん見つける今日この頃です。

さて、普段めまいを感じても「少し疲れたかな？」くらいで済ませている人が多いのではないでしょうか。

めまいにはぐるぐる目が回る「回転性めまい」や、ふわふわとふらつく「浮動性めまい」など様々な種類があります。病気が隠れていることもありますが、老化やストレスも影響するとされています。

めまいに共通するのは平衡感覚を担う内耳、目などと脳を結ぶネットワークに何らかの異常が生じる点です。良性発作性頭位めまい症やメニエール病など内耳が原因の場合は回転性めまい、小脳出血など脳や神経が原因なら浮動性めまいなどを伴うことが多いとされています。「めまいを訴えて病院に来る人は中高年を中心に年々増えており、高齢化社会が背景にあるのではないか」と指摘されています。

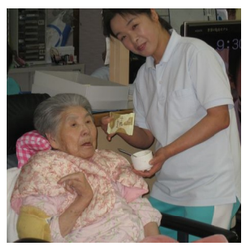
めまいを予防するには睡眠など生活習慣の見直しが重要です。睡眠は神経に対する栄養と同じです。睡眠時間が不足したり睡眠のバランスが崩れたりすると神経に影響し、内耳や脳の細かい血流に乱れが生じ結果的にめまいを伴う病気の原因になります。起床と就寝、食事、入浴などの生活リズムを一定に保つことがめまいが起きにくい体作りにつながります。普段の食事ではビタミンB群を含む食品を取るのがよいとされ、なかでもビタミンB12には神経の修復を促す作用があり、薬として処方されることもあります。めまいの強さは病気の深刻度とは比例しません。

軽いめまいでも、手足のしびれなどを伴うときは、脳の疾患が疑われるので、すぐに脳外科などに診てもらった方がよいでしょう。それ以外の場合は「慌てずに症状を覚えておき、問診で医師の質問に答えられるようにしておくことが早期診断と治療の近道になります。

（阿部）

ありがとうございました

北海道の松田麗子様より、瑞雲荘の利用者様へ二種類のお菓子をいただきました。



松田様は、ひまわりが運営を行う以前より交流いただいており、春と秋に北海道の銘菓を届けてくださいます。

早速、おやつの時間に利用者様へお出しし、召し上がっていただきました。

松田様のご厚意に感謝されながら、利用者様の顔がほころんでいました。ありがとうございました。

介護福祉士実技勉強会

3月1日に介護福祉士の実技試験がありました。ひまわりからも三名が受験。受験する職員さんに対し、有資格者が中心となって勉強会を行いました。

シミュレーションを行う中で、受験生だけでなく、有資格者も普段の対応の見直しができたようです。

まもなく発表。良い結果が届くのを楽しみにしています。

編集後記

▼先日老人ホームで火災が発生し、施設利用者が亡くなる痛ましい事故がありました。▼瑞雲荘は現在スプリンクラー設備が整っておりません。▼建設当時の消防法では設置義務がなかったようですが、今回、改正により設置が義務付けられました。▼家族会でも説明させていただきましたが、瑞雲荘では、平成23年度末までに設置できるよう計画を進めています。▼今後も火災を発生させないこと、その予防対策、万が一の際の消防設備点検、毎月の避難訓練を行い、お預かりしている〝命〟を大切に守っていけるよう努力していきます。

藤本

毎月二〇日発行　編集責任者　社会福祉法人ひまわり　藤本晴夫

各施設の行事報告

きつきの里 デイサービスセンター

「ホーホケッキョ」とうぐいすの声が心地良く春の到来を感じます。

【ひいなめぐり】

2月25日より「ひいなめぐり」に行きました。春霖の中、春雨傘を差して出掛けました。今年は毎年行く「とまや」「土谷商店」に加え、新しく出来た「衆楽観」にも行きました。衆楽観ができた当初から多くの方々が「中はどんなになっちょんのかえ～?」「中が見ちみてぇなぁ」とおっしゃっていました。その衆楽観はいかがでしたか？展示してある作品も新しく、地元の方が描かれたお雛様の絵画だったり、大きな作品に圧倒されました。ちょうど芝居の公演中の日もあり、芝居の迫力ある声が聞こえ「今度はここで芝居が観てぇなぁ」との声もたくさんでした。ひいなめぐりの後は、春を探しにドライブへ。この時期、八坂の線路脇に菜の花がいっぱい咲きます。それを見に行きました。ちょうど満開！一面の黄色いじゅうたんに車内は歓声の嵐でした。

【ひなまつり】

3月3日、午後はひいなめぐりを予定していたので特別行事は行いませんでしたが、厨房さんは朝から大忙し。この日の昼食は豪華「ひなまつり御膳」春を思わせる色鮮やかなちらし寿司に、はまぐりのお吸い物!!ひなあられまで付きました。そして自信作の創作おやつ「お雛様とお内裏様」あまりのかわいさに、食べずに持って帰ろうとする利用者様が続出。これには職員もビックリ！もったいなくて食べれないとおっしゃるのを、食べて頂けるよう説得したのは初めてです。

【杵築公民館文化祭】

3月7日、杵築市健康福祉センターで行われていた杵築公民館文化祭を見に行きました。杵築市民の皆様が作られた、書道やひょうたん、パンフラワーなどの素敵な作品が多く展示されていました。利用者様の中には、創作意欲をかきたてられた方もいらしたのではないでしょうか？

（前田・岩本）

瑞雲荘

ひなまつり

3月3日

ひなまつり行事では利用者様2名にお内裏様とお雛様の衣装を着ていただき、おめかしをバッチリ決め利用者様の前でお披露目しました。この日は田原小学校5年生が来荘して歌やリコーダーの演奏に大いに盛り上がりました。利用者様は演奏に合わせて手拍子をしたり、演奏に聞き入られ、楽しい時間を過ごされた様子でした。

来年のひなまつりも楽しみですね。

また、昨年11月ごろ頂いた、田原小学校の児童・生徒のみなさんが種から育てたパンジーもここ数日の暖かさで元気に咲いています。3月17日の避難訓練のあと、利用者様にも見ていただきました。

（山田）

三楽園 デイサービスセンター

日ごとに暖かさを増し、木々の緑もにわかに明るくなってきました。もうすっかり春ですね！

☆杵築中学校生徒さん職場体験☆

2月26日・27日

生徒さんに感想を聞きました…

「人と接する事」や「やさしさ」を肌で体験することができました。

職場の皆さんや、利用者の方々がとてもやさしく教えてくれ、今までの不安が一気に消えたそうです。

利用者様から「あの体操服を着ちょんしは、誰かえ」と職員に尋ねられる場面も…、「今日は、杵築中学校の生徒さんが職場体験に来ていますよ」と、説明すると「ほう…」と、うなずいていました。また、ある利用者様は「そら～挨拶をさせちょくれ」と嬉しそうにされていました。

利用者様もその場の雰囲気にだんだんと慣れてきたのか、色々と尋ねては微笑んでいました。会話や、ゲームをして楽しい時間を過ごしました。楽しい時間は早いもので、〝あっ〟と言う間に終わりました。帰り仕度が近付くと、利用者様も寂しく感じられたのか、「また、来なえ」と声をかけていました。見ている側も胸が「キューン」と痛む光景でした。

【職場体験を振り返って・・・】

三楽園の職員も「若さのパワー」を頂き、よい刺激になったのではないでしょうか。生徒さんから学ぶ事もあり、また少し成長できたのではないかと思います。杵築中学の生徒さん、お疲れ様でした。

☆梅見ドライブ　梅園の里）☆

3月2日～3月7日

まだまだ、寒さが続いていますが、近辺では、紅梅・白梅ともに開花し始め、穏やかな陽光に春への足音が、少しずつ感じられる頃となりました。

三楽園ではこの時期恒例となりました梅見に出かけしました。現地に着き、紅梅・白梅・しだれ梅、色んな梅が咲き誇っていました。利用者様から「白い梅と言っても微妙に色が違うものですね」と尋ねられたり、「美しいなあー」と、歓喜のあまり声を上げる方もいました。この日は、少し肌寒かったですが、外へ出ると梅の香が漂い、春の訪れがもうそこまで来ているのではないかと感じました。

☆ひなまつり☆

3月3日

〝年に一度のひな祭り〟…三楽園のひな祭りの定番と言えば、華やかなちらし寿司。そこで、今年も厨房の方に春らしさ満点の献立をしてもらいました。利用者様からは、「おいしかったよ、ごちそうさまでした」と喜ぶ顔が見られました。

（下岡）